

日本標準商品分類番号	87273
承認番号	15900AMZ00967000
保険適用	1959年3月
販売開始	1959年3月
再評価結果	1982年8月



日本薬局方

う窩根管消毒・歯髄炎鎮痛鎮静剤

※※**劇薬**
 歯科用

フェノール・カンフル
 DENTAL PHENOL WITH CAMPHOR

貯 法：遮光・気密容器・
 室温保存
 使用期限：外箱等に記載

組成・性状

成 分	100g中の分量
有効成分	
フェノール	35g
dl-カンフル	65g

本剤は、無色～淡赤色の液で、特異なおいがある。

効能・効果

齶窩及び根管の消毒、歯髄炎の鎮痛鎮静

用法・用量

通法にしたがって齶窩及び根管の処置後、本剤の適量を滅菌小綿球又は綿繊維に浸潤させて窩内あるいは根管内に挿入し仮封する。

使用上の注意

副作用

●その他の副作用

1.過敏症

過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること。

適用上の注意

- 浸出液の多い根管への適用は根尖部の刺激性が増加するので使用を避けること。
- あらかじめ局所を十分乾燥してから本剤を使用すること。
- 本剤は、軟組織に対し局所作用をあらわすおそれがあるので、口腔粘膜等に付着させないよう配慮すること。したがって、使用に際してはラバーダム防湿等を行うこと。
- 本剤が口腔粘膜や皮膚等に付着した場合は、直ちに水洗させること。本剤が皮膚等に付着したまま放置すると、炎症を起こし化学的損傷を生じることがあるので、その場合は火傷の治療に準じて処置するか、皮膚科医に相談すること。
- 歯科用のみ使用すること。

薬効薬理

本剤は、フェノールとカンフルの共融混合物であり、フェノールの腐食作用及び鎮痛作用とカンフルの局所刺激作用との相乗作用による知覚鈍麻の効果とともに、カンフルはフェノールの局所毒性を減少する目的で配合されるが、フェノールの鎮痛、消毒作用は多少低下する¹⁾。本剤の局所作用は、2～3%フェノール水溶液に相当し、抗菌力は、4～5%フェノール水溶液に匹敵するといわれている²⁾。


有効成分に関する理化学的知見

1. 一般名:フェノール

化学名:Phenol

分子式:C₆H₆O

分子量:94.11

構造式: 


性 状:本品は、無色～わずかに赤色の結晶又は結晶性の塊で、特異なおいがある。

2. 一般名:dl-カンフル

化学名:(1RS,4RS)-Bornan-2-one

分子式:C₁₀H₁₆O

分子量:152.23

構造式: 

性 状:本品は、無色又は白色半透明の結晶、結晶性の粉末又は塊で、特異な芳香があり、味はわずかに苦く、清涼味がある。

取扱い上の注意

- 本剤は「劇薬」であるので、他の物と区別して保管すること。
- 使用後は密栓し、直射日光を避けて保管すること。
- 眼に入った場合は、直ちに多量の水で15分以上洗い流し、なお異常が認められる場合は眼科医に相談すること。
- 衣服等についた場合は、においが残ったり、シミになったりするので、直ちに洗剤等で洗うこと。

包 装

15mL

主要文献

- 第15改正日本薬局方解説書, C-3512, 廣川書店(2006)
- 真泉平治:石炭酸カンフル合剤の作用機作に関する研究, 歯学, 44(1~2), 3~15(1956)

*文献請求先

日本歯科薬品株式会社 お客様窓口
 〒750-0015 山口県下関市西入江町2-5
 ☎0120-8020-96/FAX 083-222-2220
 [ホームページ] <http://www.nishika.co.jp/>



製造販売元
 日本歯科薬品株式会社
 山口県下関市西入江町2-5